



かしこく  
ゆたかに

たくましく



## 青森市立千刈小学校



### 「チーム千刈」

### 児童、教職員、保護者が一丸となり 千刈地区から青森市のSDGsを進めたい

本校は、JR青森駅から徒歩15分程の中心街にある小学校です。創立は昭和12年と古く、今年で87年を迎えます。戦前から地域の教育の中心的役割を果たし、地域に根差した教育を展開してきました。2023年からESDを校内研修の軸に据え、教職員と子どもたちが共に学び合い、高め合い、様々な教科や活動において、SDGsを意識した教育を行っています。青森市に活動拠点を置く環境活動団体とも協力し、SDGsを教育に取り入れ、かしこくゆたかでたくましい人材の育成にあたっています。

#### ■組織・団体が取り組む課題(テーマ)[SDGs]



#### 写真について

上: 2年生。外部講師と国語「たんぼのちえ」まとめ  
下左: 6年生。函館市国際水産・海洋研究センターにて  
下中: 青森ベイブリッジ下の駅前ビーチ清掃活動の様子  
下右: 5年生が制作に携わった「拾い箱」。街のごみ調査を進めている

〒038-0015 青森県青森市千刈1丁目10-20  
電話 017-766-0946  
FAX 017-766-0947  
E-mail sengarisyo@aomoricity.ed.jp  
URL <https://sites.google.com/aomoricity.ed.jp/sengarisyo/>



### 活動紹介

## ESD～可能性は無限大～ どんな教科も どんな学習も SDGsにつながっている



5月。中学生と一緒に地域清掃活動



6年生。修学旅行。「あ、あそこにいるよ!」

### プロジェクト概要

2023年より各学年でESDカレンダーを作成し、年間を通してどの教科・活動のどのタイミングでSDGsを取り入れるか、どの関係団体に連携を依頼するか、などを検討しながらESDを進めています。各学年ともSDGsをいかに各教科学習に取り入れるか趣向を凝らし、学習を進めています。また、中学校区で同じ日を学区清掃の日と定め、小中学生が一緒になってまちの清掃活動に取り組んだり、総合的な学習の時間に学んだ内容をスライドにまとめ、中学校と校区内の小学校2校(本校を含む)をオンラインでつなぎ、互いのまとめ発表を聞いて意見交換したりするなど、小中連携にも取り組んでいます。PTA活動では、アルミ缶回収やテトラパックのリサイクルなどに取り組み、小学校だけにとどまらず、地域全体でSDGsに取り組んでいる千刈地区です。

### ESD実践のポイント

6年生は、3年時から継続してSDGsの学習に取り組んできました。4年時には陸奥湾に打ち寄せるマイクロプラスチックを拾って分別、調査したり、地曳網を体験して海の豊かさを実感し、調査したことを市の環境フェアで発表したりするなどして、SDGsを身近に感じてきました。学びの集大成である修学旅行では、函館市の国際水産海洋総合研究センターを訪れ、海洋汚染や気候変動との関連、新しい水産資源の開発などを学び、これまでの学びを俯瞰した学習に取り組んでいます。5年生は、外部団体と協力し、街のごみを拾って分別し、街から川へ、そして海へと流れ出るごみの調査活動を進めています。他学年でも、環境教育アドバイザーの講師の先生とともに、各教科や道徳など単元学習から発展させSDGsにつながる学習を全校で展開しています。

### 担当者からのメッセージ

恥ずかしながら、はじめは「SDGsって?ESDって?」からのスタートでした。「チーム千刈」で学びを進めていくうちに、どの教科もどの学習もSDGsにつながる可能性があると、確信できるまでになりました。現在担任している子どもたちが「SDGsの本を読んで、家庭学習ノートにまとめたい」「休み時間に中庭のごみを拾いたいからごみ袋とビニル手袋が欲しい」と申し出るまでに成長しました。何事も、続けていくことが力になると信じて、2030年へ向かう子どもたちを育てたいと思います。



研修主任  
工藤 哉子さん